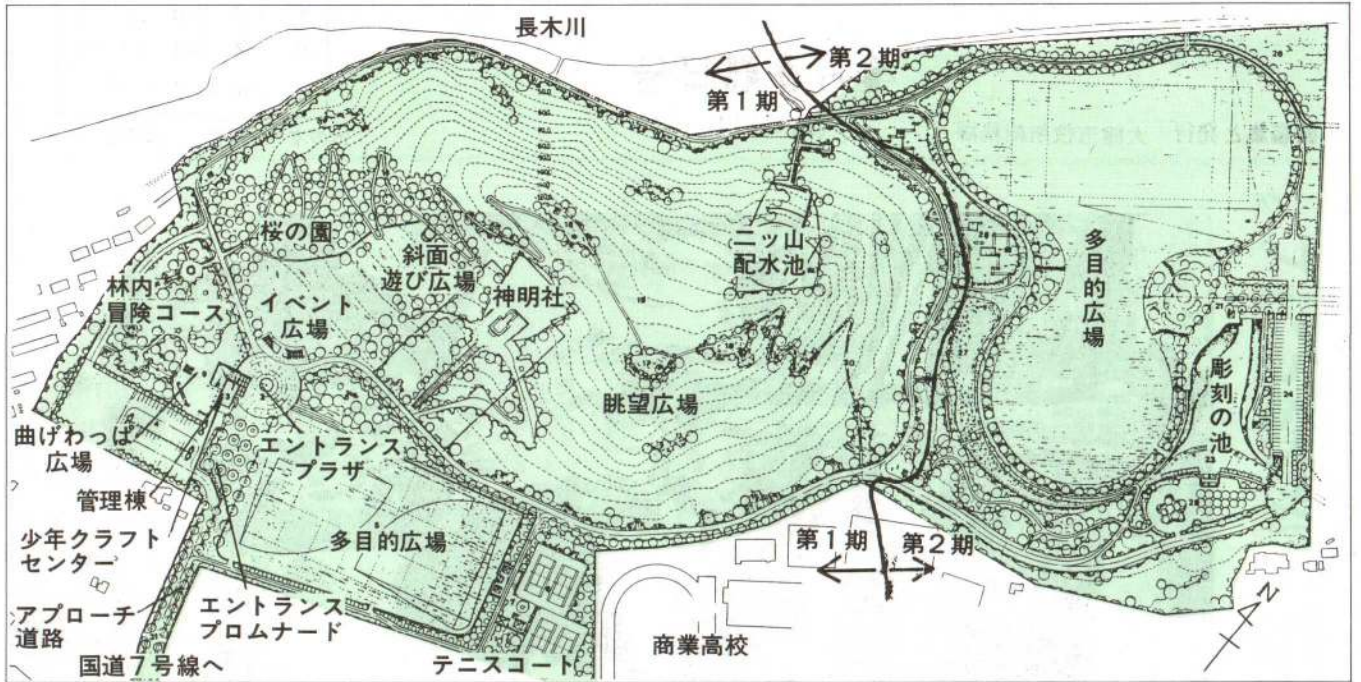


緑豊かな自然環境の中で
身近なスポーツと
憩いと休息を

ニツ山総合公園



ニツ山の自然を生かした 初の総合公園

市の中心部から西方約三キロ程にあるニツ山。この山の自然を生かしてスポーツ、レクリエーション、憩いの場とする当市では初めての総合公園事業を六十年から進めています。第一期は七年計画でニツ山及び南側地区十三・六号を六ゾーン(区域)に分けていろいろな施設を設けます。六十、六十一年度は用地取得が主で、六十二年度から本格的な工事に着手する予定となっています。また第二期は残り東側地区七・八七号を四ゾーンに分けて整備をする計画です。

ニツ山総合公園は、土地の特性や自然を生かして十区域に分けて各種施設を年次計画で建設整備します。主な計画は次のとおりです。

★南側エントランスゾーン
公園の中心施設として、エントランスプロムナード(玄関口遊歩道)と憩いの空間となるエントランスプラザ、そして管理棟や少年クラフトセンター(工芸細工や道具作りなど創作活動をする場)を配

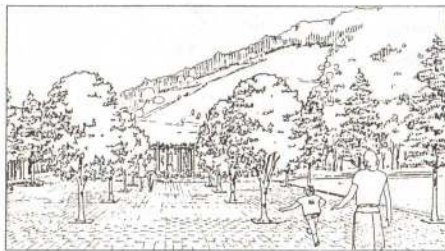
置します。
★南側多目的ゾーン
このゾーンは運動広場で、多目的広場とテニスコートを設けます。

★冒険ゾーン
遊具の設置や林内冒険コースや子供たちの作った作品を展示する場となります。

★斜面ゾーン
年間を通して斜面遊びのできる広場や四季の花木広場イベントを設置します。
★眺望広場ゾーン
ニツ山の尾根を有効に利用し、展望、休息などの広場にします。

★保全緑地ゾーン
現況の地形や樹木を保全し、登山道など整備します。
★東側エントランスゾーン
ニツ山東側地区の玄関口としてエントランスプロムナードや彫刻の池などを配置します。

★東側多目的広場ゾーン
多目的運動広場とします。



▲エントランスプロムナード

市長の対話ノート

誰もが通る道



No.129

NHKのテレビ小説「いちばん太鼓」の桂米朝さんのセリフに「人生、七十歳で生まれて、ゼロ歳でたてたら」というのがありました。つまり逆転の発想であり、燃焼しつくす人生ということだと思います。

燃焼しつくした晩年にこそ、感謝をこめた暖かい社会保障がなければなりません。にもかかわらず、すべてが経済面だけで評価され、福祉が後退して行くことを、じっと見過ごすことは出来ません。

この時にボランティア団体の方々による「福祉バンク」が設立され、本事業化に向けて準備作業に入られた事は、時宜に適したすばらしい出来事であり、市民等しく大きな期待を寄せているところだ。

社会制度の原形は「自助」↓「互助」↓「公助」ですが、福祉バンクはまさに「互助」に当たるわけで、主体性を尊重しながら私たち行政も可能な限りのお手伝いをして参りたいと考えています。だれでも、いつかは必ず通らなければならぬ道であるだけに、その道が雑草だらけになったり、だんだん狭くなることは許されません。市民の皆さんが「福祉バンク」に深い関心を寄せられ、事業成功のために会員となっていただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

佐山健治郎

地価公示価格 ▶住宅地 大館市字谷地町12番2 62,500円/㎡ (前年比300円アップ)
▶住宅地 大館市釈迦内字稲荷山下305番8 24,000円/㎡ (前年と同額)